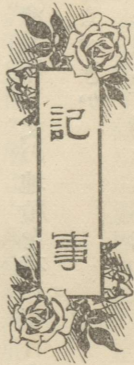


ま其内解しやすき一節をしらべ談話せしものなり



第九回ノ本會ハ本年一月二十五日午後一時十分ヲ以テ第二講堂ニ於テ開カレタリ當日ハ客員ニハ飯盛部長ヲ始メ岩川、平田、森ノ三教授遠山、保井、平島ノ三助教授及齋田講師ノ臨場アリ會員ハ在京在校ノ諸氏及文科技藝科ヨリモ多クノ傍聴アリテサシモノ會場モ滿員ノ盛況ヲ呈シタリコレ如何ニ本會ガ着々發展シツ、アルカラ證シテ餘リアリト云フベレ
飯盛部長先ヅ開會ヲ報告シ引續キ左ノ講演アリタリ

一、呼吸作用ニツキテ

客員

理學博士 齋田 講師

二、液壓波及ニツキテ

全

ドクトル 飯盛 挺造

(特ニ液壓波及實驗器創製ノ經歷)

三、秩父旅行談

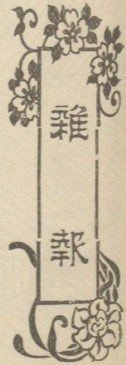
會員二年 千葉しげる

四、農産物及園藝上ニ於ケル殺菌劑ノ二三ニツキテ

會員 穴澤 ゑい

五、月ノ來歴

會員四年 在川 たく



◎秩父旅行記

千葉しげる

秩父大宮附近は地質學家間に秩父盆地と呼ばれ中央は第三紀の地層より成りて低く環らすに巒峻峰を以てす昨明治四十年十月佐藤佐方の兩先生に従ひて同級二十四人此地に旅行す二日の旅行なれば見しところ一小部分に過ぎず且觀察不十分なる點も少なからざれどこゝに其まゝと道々先生より伺ひし事を記す

十月十七日午前六時五分上野を發し熊谷にて乗り換へ波久禮に至る此間凡そ三時間波久禮より馬車を雇ひて荒川に沿ひて進む路は結晶片岩なり此地の結晶片岩は特に三波川系の名あり之小藤博士の名づけられしものなり其特別なる名を與へし理は單に結晶片岩と云へば其内自ら時代的の意あり然るに博士は此時代的の名をさらひたるなり何となれば此地の結晶片岩は歐洲諸國に存するものと異なる所あり此地には普通の雲母片岩は稀にして絹雲母片岩多く紅簾片岩の如きは外國にては稀なるも此地には多し故に博士は一層新らしき秩父古生層上中部が壓をうけて生じたるものならざるかとの疑を起しこゝに時代と全く關係なく此岩石の最もよく表はるゝ三波川の地名をとり